

令和3年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
16	本宮高等学校	全日制

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒像
<p>本校は、「自らの人生を切り拓く力とよりよい社会を創る力を持った人間の育成」を目標とし、普通科及び情報会計科の2学科において、生徒一人一人の能力を伸ばす教育を行っている。そのため、学科の特性を十分理解した上で、その学科への入学を強く希望し、入学後において他の生徒と積極的に関わり、充実した学校生活を送る中で夢を見だし、夢の実現のためにチャレンジすることができる生徒を求めている。各学科において、スポーツ・文化活動型（A型）または未来チャレンジ型（B型）のいずれかの出願区分で出願する。</p>		
普通科	50% 程度	幅広い学びが可能であることから、就職や進学等、多様な進路に対応する学科であり、次のような生徒を求める。 ① 学習や学校行事・生徒会活動に主体的に取り組む生徒 ② 進学や就職等、将来の夢に向かって目的意識を持ちながら行動する生徒
商業科 情報会計科	50% 程度	資格取得等を通してビジネス社会に必要な知識や技術を身に付ける学科であり、次のような生徒を求める。 ① 商業科目に興味・関心があり、資格取得や調査・研究等に主体的に取り組む生徒 ② 卒業後、就職して社会に貢献する意欲のある生徒、または、商業に関する分野で進学する意欲のある生徒
<p>出願区分</p> <p>スポーツ・文化活動型（A型） 部活動を通して、自分の能力を伸ばし、夢を見つけ、チャレンジ精神を持ちその実現を目指す、次の①及び②に該当する生徒。 ① 中学校で部活動に積極的に取り組んだ生徒 ② 学習との両立を図りながら、部の中心として3年間部活動を継続する生徒（ただし入学後の部活動は本校の指定する部に限る）</p> <p>未来チャレンジ型（B型） 校内外の様々な活動を通して、自分の能力を伸ばし、夢を見つけ、チャレンジ精神を持ちその実現を目指す、次の①及び②に該当する生徒。 ① 高校在学中に取り組みたい活動がある生徒（生徒会活動・ボランティア活動・地域活動・その他） ② 学習との両立を図りながら、取り組みたい活動に主体的に参加する生徒</p>		

令和3年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
16	本宮高等学校	全日制

(特色選抜)

選 抜 資 料						
学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特色検査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 250点満点。	本校及び当該学科への志望動機、将来についての考え、高校生活で特に取り組みたい活動、自己PR等について本人が記入する。 志願理由書は精査する。	「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、 音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を3倍 することとし、255点満点とする。「特別活動等の記録」と「長所・特技等の記録」は95点満点として、合計 350点満点 とする。	個人面接及び集団面接 を実施し、本校で学ぶ意欲や適性を見る。 個人面接では、受験者が特色選抜志願理由書に記載した内容に基づき面接を行う。 集団面接では、受験者が特色選抜志願理由書に記載した内容に基づき発表を行い、意見交換を行う。 面接については点数化し、 400点満点 とする。	実施しない。	全体の満点は、 1000点 とする。	

【前期選抜】

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
普通科	(80)	5教科とする。 250点満点。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。	集団面接を実施する。 面接については、段階評価する。	同等とする。	
商業科 情報会計科	(40)					

令和3年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
16	本宮高等学校	全日制

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
普通科 商業科 情報会計科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。	個人面接を実施する。 面接については、段階評価する。	作文を実施する。 あるテーマについて、600字以内で、自分の思いや感想を述べる作文とする。 作文については、点数化し、20点満点とする。	